2027年５月期　第１四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年９月30日

上 場 会 社 名　　ヤマシタヘルスケアホールディングス株式会社　　上場取引所　　東
コ ー ド 番 号　　9265　　URL　https://www.yhchd.co.jp/
代　　表　　者　(役職名)　代表取締役 執行役員 社長　　(氏名)　　山下　尚登
問合せ先責任者　(役職名)　取締役 執行役員　　(氏名)　　吉田　弘幸　　(TEL) 092-402-2922
配当支払開始予定日　　―
決算補足説明資料作成の有無　　：無
決算説明会開催の有無　　：無

(百万円未満切捨て)

１．2027年５月期第１四半期の連結業績（2026年６月１日～2026年８月31日）

（１）連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年５月期第１四半期	15,045	△0.2	△131	―	△106	―	△101	―
2026年５月期第１四半期	15,078	△0.7	36	△79.6	67	△64.9	△2	―

(注) 包括利益　2027年５月期第１四半期　　△53百万円(　　―%)　2026年５月期第１四半期　　△21百万円(　　―%)

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年５月期第１四半期	△39.98	―
2026年５月期第１四半期	△0.84	―

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年５月期第１四半期	25,397	9,034	35.6
2026年５月期	27,089	9,360	34.6

(参考) 自己資本　2027年５月期第１四半期　　9,034百万円　　2026年５月期　　9,360百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年５月期	―	0.00	―	107.00	107.00
2027年５月期	―				
2027年５月期(予想)		0.00	―	65.00	65.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：無

３．2027年５月期の連結業績予想（2026年６月１日～2027年５月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	69,794	8.8	833	13.1	855	△2.4	553	△14.6	217.65

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無　　：無

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更　　：無

新規　　ー社（社名）　　、除外　　ー社（社名）

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　　：無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　　：無

②　①以外の会計方針の変更　　：無

③　会計上の見積りの変更　　：無

④　修正再表示　　：無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年５月期１Ｑ	2,553,000株	2026年５月期	2,553,000株
②　期末自己株式数	2027年５月期１Ｑ	11,429株	2026年５月期	9,771株
③　期中平均株式数（四半期累計）	2027年５月期１Ｑ	2,542,503株	2026年５月期１Ｑ	2,515,946株

※　添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー　　：無

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項については、【添付資料】３ページ「１．当四半期決算に関する定性的情報（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 3
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．四半期連結財務諸表及び主な注記 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
四半期連結損益計算書 …… 6
第１四半期連結累計期間 …… 6
四半期連結包括利益計算書 …… 7
第１四半期連結累計期間 …… 7
（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… 8
（セグメント情報等） …… 8
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 9
（継続企業の前提に関する注記） …… 9
（キャッシュ・フロー計算書に関する注記） …… 9

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当第１四半期連結累計期間（2026年６月１日～2026年８月31日）におけるわが国の状況は、雇用・所得環境の改善や企業の設備投資の持ち直しなどを背景に緩やかな回復基調で推移したものの、物価上昇の継続や為替変動等に加え、中東情勢の緊迫化を背景とした原油価格等のエネルギー価格の変動、海外経済の動向など、先行き不透明な状況が続いております。

当社グループが属する医療業界におきましては、高齢化の進展や医療技術の高度化を背景に、医療需要は底堅く推移しております。一方で、医療機関においては、人件費、光熱費、医療材料費等の上昇が継続する中、収益性の改善が十分に進まず、設備投資や医療材料の調達に対する慎重な姿勢が続いております。

このような状況の中、当社グループでは「地域のヘルスケアに貢献する」という経営理念の下、「中期経営計画（2025年5月期～2027年5月期）」の最終年度として、基本方針である経営基盤の強化に向けた積極的な投資とグループ機能向上による相乗効果の発揮を図るとともに、人材基盤の強化と従業員ワークエンゲージメントを向上させながら、当社グループで働く人々にとって魅力ある組織づくりを目指しております。

中核事業子会社である山下医科器械株式会社においては、将来的な事業拡大を見据え、効率化と省人化に重点を置いた物流センターの在り方を模索しており、自動倉庫や搬送ロボット、倉庫管理システムなどのマテリアルハンドリング機器を積極的に導入し、自動化による業務効率化と労働環境の改善を両立させる物流体制の構築を進めております。

当第１四半期連結累計期間の業績につきましては、中核事業である医療機器販売業において検査・手術件数の増加により診療材料等の医療機器消耗品の需要が増加したものの、医療機関における設備投資需要が前年同期よりも減少したことにより、売上高は150億45百万円（前年同四半期比0.2%減）となりました。利益面につきましては、売上減少に伴う売上総利益の減少及び人件費の増加等による販売費及び一般管理費の増加により、営業損失は１億31百万円（前年同四半期は営業利益36百万円）、経常損失は１億６百万円（前年同四半期は経常利益67百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は１億１百万円（前年同四半期は２百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。なお、各セグメントの売上高はセグメント内の内部売上高を含んでおります。

①　医療機器販売業

医療機器販売業のうち一般機器分野では、一般医療機器備品やＭＲＩ、ＣＴ等の画像診断機器や放射線診断装置及び超音波診断装置の売上により12億50百万円（前年同四半期比21.2%減）となりました。一般消耗品分野では、汎用消耗品及び手術関連消耗品の売上により68億15百万円（前年同四半期比4.9%増）となりました。内視鏡、サージカル、循環器等により構成される低侵襲治療分野では、電子内視鏡手術システム等の内視鏡備品や、腹腔鏡システム等のサージカル備品、血管内治療、内視鏡関連消耗品の売上により35億40百万円（前年同四半期比1.9%増）となりました。整形、理化学、眼科、皮膚・形成、透析により構成される専門分野では、透析関連機器や整形外科関連の売上により31億82百万円（前年同四半期比0.2%増）となりました。医療情報、設備、医療環境等により構成される情報・サービス分野では、設備保守メンテナンスの売上により２億79百万円（前年同四半期比21.4%減）となりました。

この結果、医療機器販売業の売上高は150億68百万円（前年同四半期比0.1%減）、セグメント利益は２億12百万円（前年同四半期比40.5%減）となりました。

医療機器販売業の売上高は次のとおりであります。

（単位：百万円）

区分	前第１四半期連結累計期間		当第１四半期連結累計期間		増減額	前年同期比(%)
	金額	構成比(%)	金額	構成比(%)		
一般機器分野	1,587	10.5	1,250	8.3	△336	△21.2
一般消耗品分野	6,495	43.1	6,815	45.2	319	4.9
低侵襲治療分野	3,476	23.0	3,540	23.4	64	1.9
専門分野	3,176	21.0	3,182	21.2	6	0.2
情報・サービス分野	355	2.4	279	1.9	△75	△21.4
小 計	15,090	100.0	15,068	100.0	△22	△0.1

② 医療機器製造・販売業

医療機器製造・販売業におきましては、グループ開発製品である整形外科用インプラントの製造・販売、および超音波を用いた医療用機器等の開発、販売を行っており、売上高は54百万円（前年同四半期比0.4%増）、セグメント損失は20百万円（前年同四半期は63百万円のセグメント損失）となりました。

③ 医療モール事業

医療モール事業におきましては、主として賃料収入により売上高は17百万円（前年同四半期比0.1%減）、セグメント利益は１百万円（前年同四半期比1.2%減）となりました。

（２）財政状態に関する説明

（資産の部）

当第１四半期連結会計期間末の総資産は253億97百万円となり、前連結会計年度末に比べて16億91百万円減少いたしました。流動資産は、主に現金及び預金の減少により、前連結会計年度末に比べて22億52百万円減少し、182億42百万円となりました。固定資産は、主に中核事業子会社である山下医科器械株式会社における鳥栖物流センターの増改築及びマテリアルハンドリング機器の導入に伴う建設仮勘定の増加等により、前連結会計年度末に比べて５億60百万円増加し、71億55百万円となりました。

（負債及び純資産の部）

当第１四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に計上していた仕入債務の期日到来に伴う運転資金として短期借入金が10億円増加した一方で、電子記録債務が18億78百万円減少したこと等により、前連結会計年度末に比べて13億65百万円減少し、163億63百万円となりました。また、純資産は、前連結会計年度末に比べて３億25百万円減少し、90億34百万円となり、自己資本比率は35.6%となりました。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2027年５月期の連結業績予想につきましては、2026年７月13日に公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

２．四半期連結財務諸表及び主な注記

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2026年５月31日)	当第１四半期連結会計期間 (2026年８月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,127	1,918
受取手形、売掛金及び契約資産	12,117	11,647
商品	3,562	4,120
その他	743	611
貸倒引当金	△55	△55
流動資産合計	20,494	18,242
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	3,346	3,346
減価償却累計額	△1,957	△1,986
建物及び構築物（純額）	1,388	1,360
土地	1,983	1,983
建設仮勘定	862	1,421
その他	913	924
減価償却累計額	△798	△814
その他（純額）	114	109
有形固定資産合計	4,350	4,875
無形固定資産		
のれん	248	237
その他	78	72
無形固定資産合計	326	309
投資その他の資産		
投資有価証券	1,093	1,159
破産更生債権等	11	11
その他	823	810
貸倒引当金	△11	△11
投資その他の資産合計	1,917	1,970
固定資産合計	6,594	7,155
資産合計	27,089	25,397

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2026年５月31日)	当第１四半期連結会計期間 (2026年８月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,208	7,979
電子記録債務	7,733	5,854
短期借入金	－	1,000
未払法人税等	88	46
賞与引当金	531	127
その他	761	954
流動負債合計	17,323	15,962
固定負債		
退職給付に係る負債	56	57
繰延税金負債	8	－
その他	341	343
固定負債合計	405	400
負債合計	17,728	16,363
純資産の部		
株主資本		
資本金	494	494
資本剰余金	624	624
利益剰余金	7,669	7,295
自己株式	△28	△29
株主資本合計	8,758	8,384
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	601	649
その他の包括利益累計額合計	601	649
純資産合計	9,360	9,034
負債純資産合計	27,089	25,397

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第１四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第１四半期連結累計期間 （自 2025年６月１日 至 2025年８月31日）	当第１四半期連結累計期間 （自 2026年６月１日 至 2026年８月31日）
売上高	15,078	15,045
売上原価	13,115	13,147
売上総利益	1,962	1,897
販売費及び一般管理費	1,925	2,029
営業利益又は営業損失（△）	36	△131
営業外収益		
受取利息及び配当金	8	11
仕入割引	4	3
受取手数料	6	6
保険解約返戻金	14	11
その他	6	5
営業外収益合計	40	39
営業外費用		
支払利息	0	3
為替差損	4	0
手形売却損	2	3
譲渡制限付株式関連費用	－	5
その他	1	1
営業外費用合計	9	14
経常利益又は経常損失（△）	67	△106
特別利益		
投資有価証券売却益	－	6
特別利益合計	－	6
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失（△）	67	△100
法人税、住民税及び事業税	23	47
法人税等調整額	47	△45
法人税等合計	71	1
四半期純損失（△）	△3	△101
非支配株主に帰属する四半期純損失（△）	△1	－
親会社株主に帰属する四半期純損失（△）	△2	△101

四半期連結包括利益計算書

第１四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第１四半期連結累計期間 （自 2025年６月１日 至 2025年８月31日）	当第１四半期連結累計期間 （自 2026年６月１日 至 2026年８月31日）
四半期純損失（△）	△3	△101
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△5	48
退職給付に係る調整額	△12	－
その他の包括利益合計	△17	48
四半期包括利益	△21	△53
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	△19	△53
非支配株主に係る四半期包括利益	△1	－

（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（セグメント情報等）

Ⅰ　前第１四半期連結累計期間（自　2025年６月１日　至　2025年８月31日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				調整額（注）１	四半期連結損益計算書計上額（注）２
	医療機器販売業	医療機器製造・販売業	医療モール事業	計		
売上高						
一般機器分野	1,587	－	－	1,587	－	1,587
一般消耗品分野	6,495	－	－	6,495	－	6,495
低侵襲治療分野	3,476	－	－	3,476	－	3,476
専門分野	3,176	－	－	3,176	－	3,176
情報・サービス分野	355	－	－	355	－	355
その他	－	54	－	54	－	54
内部売上高	△84	－	－	△84	－	△84
顧客との契約から生じる収益	15,006	54	－	15,060	－	15,060
その他の収益	－	－	17	17	－	17
外部顧客への売上高	15,006	54	17	15,078	－	15,078
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	0	－	0	△0	－
計	15,006	54	17	15,078	△0	15,078
セグメント利益又は損失（△）	357	△63	1	295	△259	36

（注）１．　セグメント利益又は損失の調整額△259百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△248百万円、棚卸資産の調整額△０百万円、のれん償却額△11百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門等に係る費用であります。

２．　セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ　当第１四半期連結累計期間（自　2026年６月１日　至　2026年８月31日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				調整額（注）１	四半期連結損益計算書計上額（注）２
	医療機器販売業	医療機器製造・販売業	医療モール事業	計		
売上高						
一般機器分野	1,250	－	－	1,250	－	1,250
一般消耗品分野	6,815	－	－	6,815	－	6,815
低侵襲治療分野	3,540	－	－	3,540	－	3,540
専門分野	3,182	－	－	3,182	－	3,182
情報・サービス分野	279	－	－	279	－	279
その他	－	54	－	54	－	54
内部売上高	△94	－	－	△94	△0	△95
顧客との契約から生じる収益	14,973	54	－	15,027	△0	15,027
その他の収益	－	－	17	17	－	17
外部顧客への売上高	14,973	53	17	15,045	－	15,045
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	0	－	0	△0	－
計	14,973	54	17	15,045	△0	15,045
セグメント利益又は損失（△）	212	△20	1	193	△325	△131

（注）１．　セグメント利益又は損失の調整額△325百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△311百万円、棚卸資産の調整額△３百万円、のれん償却額△11百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門等に係る費用であります。

２．　セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（キャッシュ・フロー計算書に関する注記）

当第１四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。

なお、第１四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第１四半期連結累計期間（自　2025年６月１日　至　2025年８月31日）	当第１四半期連結累計期間（自　2026年６月１日　至　2026年８月31日）
減価償却費	43百万円	48百万円
のれんの償却額	11百万円	11百万円